



球陽高校 SSH通信

Vol.1(2018.4.20)

科学上達

発行: 沖縄県立球陽高等学校・中学校 SSH研究開発部

偉人の言葉

Learn as if you will Live Forever, Live as if you will Die Tomorrow.

(永遠に生きるかのように学べ。明日死ぬかのように生きろ) マハトマ・ガンジー

4月の SSH活動

11日(水)SSH探究Ⅲオリエン

12日(水)SSH探究Ⅱオリエン

SSH理数探究Ⅰ(1-1・2)オリエン

17日(水)SSH理数探究Ⅰ(1-3・4)オリエン

26日(木)理科・数学意識調査(1年宿泊研修)

1・2・3年生のSSH探究がスタートしました！
新たな発見や面白い研究に期待です！

SSH通信について

SSH通信は、日頃のSSHに関する活動の報告やお知らせ、サイエンスに関する情報を発信するものです。SSHの授業だけでなく、通信を読んでさらにサイエンスへの興味関心を高めて、研究活動に臨みましょう！

SSHロゴへの想い



このロゴは政井 英里子さん(平成25年度2年理科)が作成したロゴです。「白い雲とハイビスカス」は亜熱帯の自然に恵まれ地域特有の動植物にあふれている環境、「青の水しぶき」はサンゴ礁のある美しい海をイメージしています。すばらしい亜熱帯の自然環境に囲まれた中で、球陽高校のSSH活動が発展することを願っています。

SSHってなあに？

Super Science High schoolの頭文字をとって「SSH」と呼んでいます。このSSHは、高等学校等において、大学などの研究機関と連携をしながら、先進的な理数教育を実施するとともに、国際性を育む取組を行うための制度です。この制度を取り入れて、先進的な研究活動を行っている高校は、全国に203校あり、球陽高校はその中の1校です。球陽高校のSSHでは、一年生では研究活動の基礎を学ぶ「SSH理数探究Ⅰ」、二年生では実際に研究活動を行う「SSH探究Ⅱ」、三年生では研究したものを論文する「SSH探究Ⅲ」を行っています。また、東京つくば研修や県内外研修で、さらに興味関心を高めるとともに、将来設計の一助としています。そして、球陽では、サイエンスイングリッシュラボやSSH台湾研修など英語をとおしてサイエンスと触れ合う場を数多く提供し、世界で活躍できる人材の育成を目指しています。

SSH研究開発部の先生紹介

球陽SSHは、SSHの授業を担当している先生方だけでなく、裏方として研究環境を整えている「SSH研究開発部」に所属する先生方もいます。今回は、その先生方を紹介します♪

皆さんの研究がより良いものになっていくために、サポートしていきます♪一年間よろしくお祈りします！



上江洲 陽 先生(物理)
SSH全体の取りまとめや、SSHがさらに良くなるための研究開発を行っています。



富村 真 先生(数学)
東京つくば研修や国際英語科の探究活動の整備を行っています。



上地 太子 先生(英語)
科学英語やサイエンスイングリッシュラボ、SSH台湾サイエンス研修など、科学と英語をつなぐ架け橋をしています。



中村 元紀 先生(生物)
探究Ⅱ・Ⅲにおける研究環境の整備や、研究活動がより活性化するために何が必要か研究開発しています。

SSH研究開発部からのお知らせ

SSクラブの部員募集！

興味のある生徒は、理科または数学(山内)の先生に声をかけて下さい♪

SSクラブは「物理」「化学」「地学」「生物」「数学」の5領域で構成されています。それぞれの分野で実験・観察・証明など様々な手法で研究を行い、新しい発見を求めて日々活動しています。新たな研究者求ム！